

但馬・養父

大藪古墳群



兵庫県指定文化財

こうもり塚古墳・塚山古墳

禁裡塚古墳・西ノ岡古墳

養父市指定文化財

野塚古墳群・道林古墳群

大藪古墳クイズ！

大藪古墳群は但馬を代表する大型古墳群です。聖徳太子が活躍した1400前を中心に造られました。古墳を見学しながらクイズにチャレンジしてみましょう。

- 1) こうもり塚古墳の間違った説明はどれですか？
 - ①こうもり塚古墳にはこうもりがいる
 - ②古墳の天井石は4枚である
 - ③円墳ではなくて方墳である
- 2) 禁裡塚古墳の間違った説明はどれですか？
 - ①石室の入口は正確に東を向いている
 - ②大藪古墳群で最初に作られた大型円墳である
 - ③石室に使われた石材の数は塚山古墳の方が多
- 3) 塚山古墳には但馬最大の石材が使われていますがどこ？
 - ①奥壁の1段目
 - ②玄室の天井石
 - ③側壁の1段目
 - ④玄門部の見上げ石
- 4) 大藪古墳群の時代に活躍した人物はだれですか？
 - ①池田草庵
 - ②小野妹子
 - ③伊藤博文
 - ④豊臣秀吉
 - ⑤北垣国道
 - ⑥応神天皇
- 5) 古墳の作られた順番が正しいのはどれですか？
 - ①塚山→禁裡塚→西ノ岡→こうもり塚
 - ②禁裡塚→塚山→こうもり塚→西ノ岡
 - ③禁裡塚→塚山→西ノ岡→こうもり塚
- 6) 大藪の横穴式石室の正しい説明はどれですか？
 - ①野菜を貯蔵する倉庫
 - ②古代人が生活する住宅
 - ③古代人を埋葬した墓地
 - ④孝徳天皇の皇子の墓地

No	古墳名	所在地	墳形	袖	全長 (m)	玄室規模 (m)			羨道規模 (m)			玄室	
						長	幅	高	長	幅	高	面積	体積
1	禁裡塚古墳	養父市大藪	円墳	両	13.9	5.97	2.79	3.6	7.93	1.54	2.3	16.6	59.9
2	桶縫古墳	豊岡市日高町鶴岡	円墳	両	13	5.1	2.6	3.4	8	1.5	1.7	13.2	45
3	塚山古墳	養父市大藪	円墳	両	12.1	4.82	2.54	3.6	7.28	1.47	1.8	12.2	44
4	堀畑1号墳	養父市堀畑	円墳	両	11.4	4.7	2.4	3.7	6.58	1.3	2.1	11.28	41.7
5	風谷1号墳	豊岡市田結	円墳	右	9.06	5.4	2.6	2.9	3.66	1.83		14	40.7
6	西ノ岡古墳	養父市大藪	円墳	両	13.6	5.27	2.58	3	8.33	1.76	1.6	13.5	40.7
7	ケゴヤ古墳	豊岡市城崎町上山	円墳	左	8.22	6.35	2.45	2.33	1.87	1.6	1.32	15.5	36.2
8	二見谷1号墳	豊岡市城崎町二見谷	円墳	両	8.2	5.3	2.05	2.97	3.1	1.35	1.35	10.8	32.2
9	城やぶ1号墳	朝来市和田山町筒江	円墳	両	11.05	5	2.15	2.50	6.05	1.38	1.55	10.7	26.8
10	若宮1号墳	養父市八鹿町舞狂	円墳	右	9.58	4.14	2.45	2.64	5.44	1.57	1.74	10.1	26.7
11	迫間3号墳	朝来市山東町迫間	円墳	両	8.3	4.14	2.15	2.77	4.16	1.41	1.71	8.9	24.6
12	金梨山8号墳	朝来市山東町迫間	円墳	左	8.7	5.55	1.62	2.68	3.15	1.2	2.38	8.9	24
13	三月野1号墳	養父市大塚	円墳	両	7.4	4.4	2.08	2.6	3	1.4	1.4	9.1	23.7
14	こうもり塚古墳	養父市大藪	方墳	右	12.55	7.1	1.79	1.82	5.45	1.51		12.7	23.1
15	岩倉3号墳	豊岡市日高町栗栖野	円墳	右	9.3	3.7	2.4	2.5	5.6	1.5	2.1	8.8	22.2

但馬の大型横穴式石室一覧表

古代但馬の浪漫探訪

◆大藪古墳群の位置

養父市養父地域には、藪崎・養父市場・大藪という「やぶ」の地名をもつ集落があります。一般的にこの付近が、古代の養父郡養父郷の中心地だと考えられます。大藪古墳群は円山川右岸にある大藪集落にあります。円山川に面した南斜面の丘陵地に古墳が点在しています。大藪集落を中心として弓なりに広がる地形は、北に山を背負い、南には円山川が流れて風水思想に合致します。そして正面の対岸には養父神社があります。

大藪古墳群には、但馬を代表する4基の大型古墳があります。東からこうもり塚古墳・塚山古墳・禁裡塚古墳・西ノ岡古墳の4基です。また横穴式石室をもつ古墳群は、東から小山古墳群・野塚古墳群・穴ヶ谷古墳群などがあります。これとは別に石棺や木棺を埋葬施設とする道林古墳群（推定5世紀後半から6世紀前半の築造）があります。これらをすべてあわせたものが大藪古墳群です。約150基の古墳群が作られています。

◆県指定文化財

禁裡塚古墳は昭和61年3月、塚山古墳・西ノ岡古墳・こうもり塚古墳は昭和63年3月に兵庫県指定文化財になりました。兵庫県を代表する大型の横穴式石室が良好に保存されています。また野塚古墳群・道林古墳群は昭和54年9月に養父市指定文化財となりました。

この他にも市内には県指定文化財の観音塚古墳（養父市上野）、別宮家野遺跡（養父市別宮）、国指定文化財の箕谷古墳群（養父市八鹿町小山）や八木城跡（養父市八鹿町八木）などがあります。

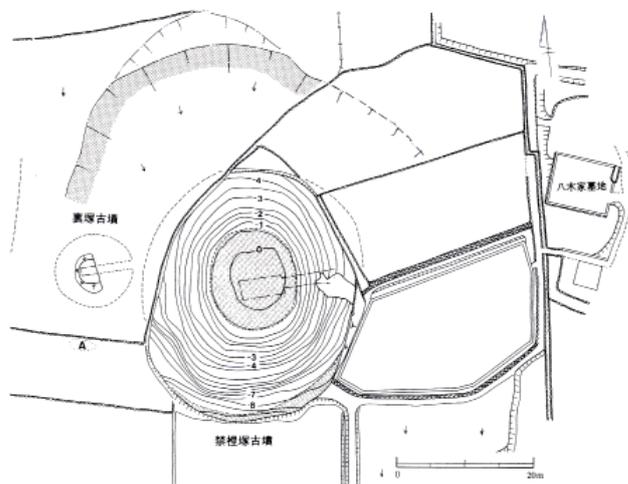


塚山古墳内部より外を見る

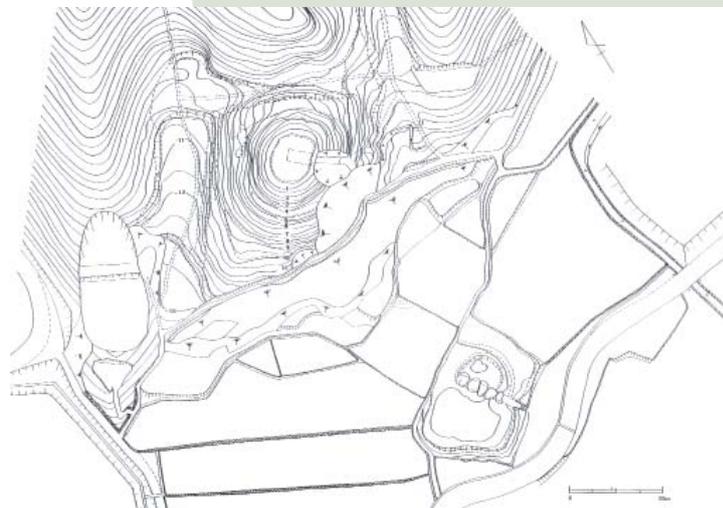
◆但馬の政治権力は移動したのか

大藪古墳群では6世紀後半から7世紀中頃にかけて、禁裡塚古墳・塚山古墳・西ノ岡古墳・こうもり塚古墳という順番で大型古墳が次々と作られました。しかし5世紀に大型の古墳が作られた朝来市の池田古墳や茶スリ山古墳の地域には、塚山古墳クラスの石室はありません。

こうした事から但馬の古代史では、6世紀になって朝来市和田山地域から養父市養父地域に、但馬最大の政治権力が移ったという説があります。禁裡塚古墳などの大型石室は、奈良県の飛鳥地方にあっても並々ならぬ規模をほこる大型の石室です。但馬らしい田園空間に今も良好な状態で残る大藪古墳群は、名実ともに北近畿だけでなく兵庫県を代表する古墳群だと言えます。



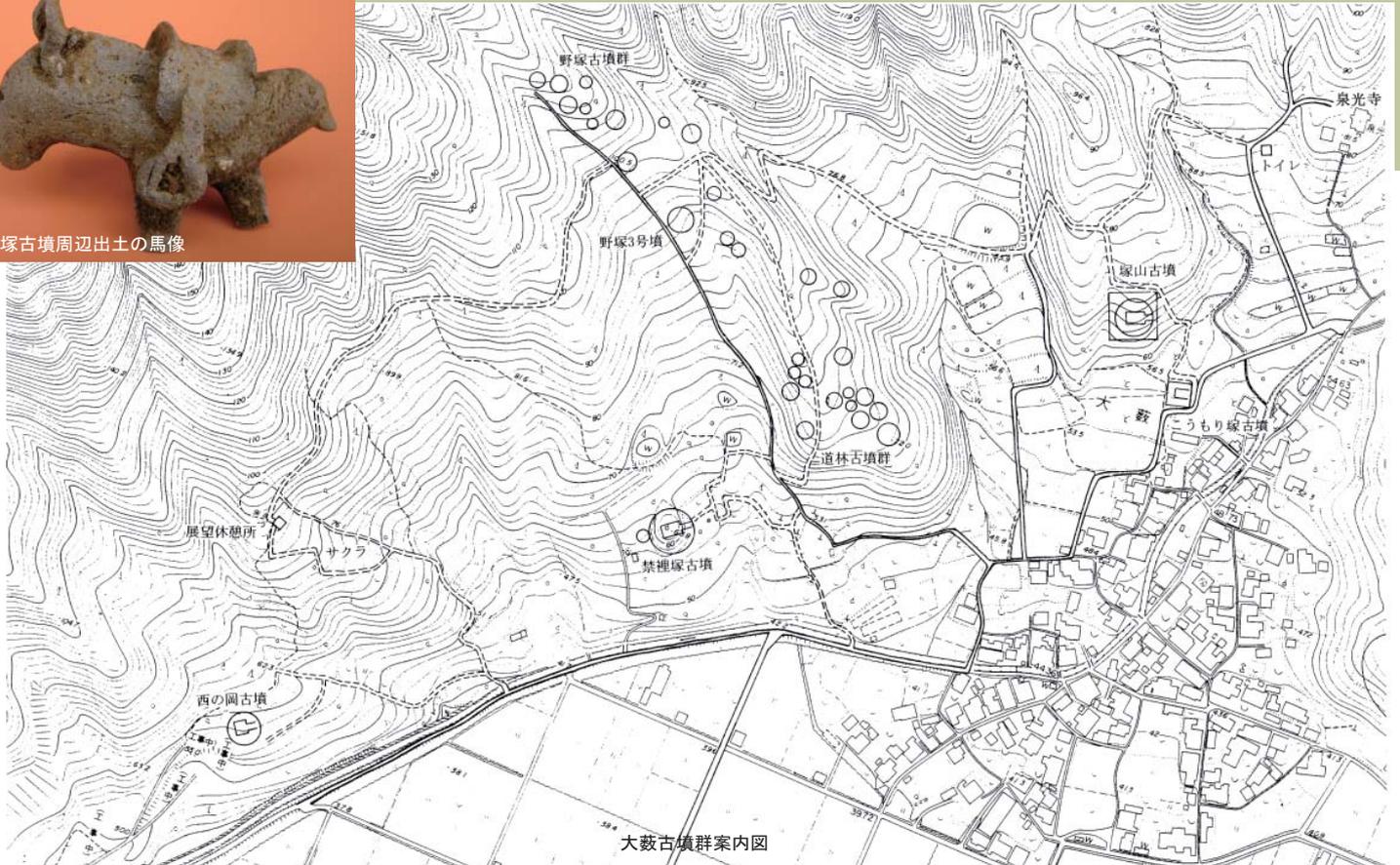
禁裡塚古墳平面図



塚山古墳・こうもり塚古墳平面図



禁裡塚古墳周辺出土の馬像



大藪古墳群案内図

◆禁裡塚古墳

禁裡塚古墳は、大藪古墳群の中心にある古墳で、塚山古墳と西ノ岡古墳の中間地点にあります。墳丘は南北35m・東西32mの円墳で、高さは9mです。石室の全長は13.9mです。玄室は長さ5.9m・奥壁幅3.0m・高さ3.6mです。羨道と玄室の区別がある両袖式の横穴式石室です。玄室にはベンガラ成分をもつ赤色顔料が塗られています。

羨道部の入口を石室内部からみると、石室を閉ざすために石材を積み上げた閉塞石がみられます。石室の入口は東に開きます。大藪古墳群では原則的に東を入口とします。また墳丘測量図をみると墳丘の中央部に玄室の中心を設置しています。墳丘の周囲にめぐらす周溝は水田に利用するために埋められています。

禁裡塚古墳の西側に近接して裏塚古墳があります。禁裡塚古墳の周溝内に位置する関係から培塚のような性格の古墳とみられます。

◆塚山古墳

塚山古墳は、方形の基壇の上に作られた円墳だと考えられています。方形の基壇は、一辺約35mあります。この平坦地に直径35mの円墳が作られています。墳丘の高さは東側で11mあります。この墳丘の中腹に横穴式石室の入口が開いています。

塚山古墳の周囲には、東西両側と山側にコの字形にまわる幅10mから15mの谷地形があります。これは古墳を作るために用意された土地である兆域だという説があります。この説に従うと塚山古墳は南北60m・東西55mの方形の兆域を確保した中に方形の基壇を作り、その上に直径35mの墳丘を築いた円墳となります。

横穴式石室は、全長12.1mです。玄室は長さ4.8m・奥壁幅2.5m・高さ3.6mです。奥壁は3段に積みまます。羨道と玄室の区別がある両

袖式の横穴式石室です。墳丘の中心が石室の奥壁の位置にあたります。塚山古墳の特徴は、玄室の天井石が長さ4.8mもある一枚石で作られていることです。但馬最大の古墳の石材です。

◆西ノ岡古墳

西ノ岡古墳は、墳丘が畑に改変されて形状がよくわかりません。直径25m程度の円墳と考えられます。墳丘の中心部が石室の中心に位置しています。周溝があると思われませんがよくわかりません。

横穴式石室は、全長が13.6mです。玄室は長さ5.2m・奥壁幅2.5m・高さ3.0mで、両袖式の横穴式石室です。西ノ岡古墳の特徴は、奥壁が2石で2段に積まれていることです。また天井石も2石で作られています。

◆こうもり塚古墳

古墳の盛土が削り取られて、天井石が5枚露出しています。天井石の上には小さな荒神社があります。古墳の盛土で周溝が埋められて畑になっているので、墳丘の形状はよく分かりません。現状では長辺28m・短辺23m程度の方形になっていることから、一辺30mほどの方墳と考えられます。

横穴式石室は、全長が12.5mです。玄室は長さ7.1m・奥壁幅1.7m・高さ1.8mです。羨道と玄室を区別した片袖式の横穴式石室です。奥壁は1石で、天井石は5石です。玄室は細長いもので、奥壁の幅の4倍の長さにあたります。

塚山古墳とこうもり塚古墳に埋葬された人物は、古墳が近接することから父子になるような近親者でしょう。7世紀の大型古墳は、円墳から方墳に形態が変化します。大和の中央政権から認められた律令官人で、但馬の政治に大きな影響力を示した人物と思われる。

◆但馬最大の古墳

大藪古墳群は但馬最大の大型古墳だと説明することがあります。禁裡塚古墳に作られている横穴式石室の規模が、但馬最大であるだけでなく兵庫県下でも最大規模であるからです。

しかし但馬最大の古墳は、朝来市にもあります。朝来市和田山町にある池田古墳という前方後円墳は、全長が141mもあります。5世紀の日本海地域では最大の墳丘をもつ古墳だと言われています。また朝来市和田山町にある茶スリ山古墳は、直径約90mもある円墳です。円墳では近畿地方最大のものだと言われています。

「但馬最大の古墳」の定義は大変難しいものです。正確な表現は但馬最大の横穴式石室をもつ古墳（禁裡塚古墳）、但馬最大の前方後円墳（池田古墳）、但馬最大の円墳（茶スリ山墳）ですが、いずれの場合も省略して但馬最大の古墳と説明します。



こうもり塚古墳



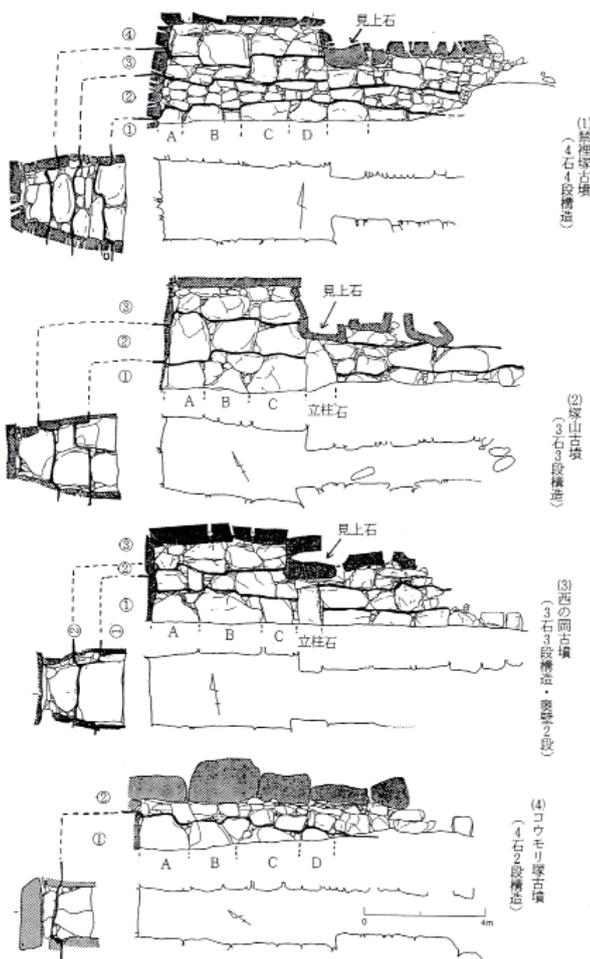
塚山古墳



西ノ岡古墳



禁裡塚古墳



4つの石室の図面

古墳クイズの答え

- 1) ②天井石は5枚 2) ③禁裡塚古墳の方が多い
- 3) ②1枚の大きな天井石 4) ④遣隋使の小野妹子
- 5) ③石室が次第に小型化する 6) ③豪族の墓地

■大藪泉光寺

寛文6年(1619) 出石藩主小出吉重は、弟の小出英信に2000石を分け与えて旗本大藪小出家が始まりました。大藪小出家の菩提寺が、臨済宗妙心寺派の泉光寺です。第2代英輝を開基としました。山門、観音堂が江戸時代の建築です。境内にはこうのとりのレリーフを刻んだ弘化3年(1846)の句碑があります。俳句は「相なれて、三日、千寿の、別れか那」と刻んでいます。作者は大藪小出家の代官を勤めた大島貞利で松翁と号しました。病気のこうのとりを看病したが三日でしんでしまったという意味です。養父神社の裏山が有名な鶴山でした。大藪古墳群の対岸に養父神社があります。天平9年(737) 但馬国正税帳に出石神・粟鹿神・養父神の記述があることから但馬で最も古い神社です。大藪古墳群と養父神社は密接な関係があります。



こうのとりのレリーフが刻まれた句碑

■問い合わせ

養父市教育委員会社会教育課
667-0198 兵庫県養父市広谷 250-1
TEL079-664-1628 FAX079-664-1758

■交通手段

八鹿駅から全但バスで大屋・和田山方面に3km乗車し、大屋橋バス停下車、徒歩1.8km

■発行

養父市教育委員会 平成19年3月26日

<養父市文化財パンフレット NO 3>

